

Ark Gioia

株式会社アーク・ジョイア
東京都文京区音羽1丁目1番7号
正進社ホールディングスビル 4F
Tel: 03-6902-0480
2020年2月吉日

STUDIO FRANCO SERBLIN 新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

STUDIO FRANCO SERBLIN (スタジオ・フランコ・セルブリン / イタリア) より 2011年に発売した“調和”を意味するブックシェルフ型スピーカー“Accordo (アッコルド)”。今は亡き Franco Serblin (フランコ・セルブリン) 氏が生涯最後に手掛けた作品であり、発売から9年が経った今なお注目され続けている、まさに銘機といえます。

そしてこの度、現在の同社オーナーであり、全製品の製作をしている Massimiliano Favella (マッシミリアーノ・ファヴェッラ) 氏が“アッコルド”へオマージュから全てを手掛けた同社の第4作目となるフロア型スピーカー・システム“Accordo Essence (アッコルド・エッセンス)”を発売いたしますことをご案内申し上げます。

つきましては添付の資料をご高覧いただき、ご試聴ならびにご検討いただければ幸いに存じます。

敬具

記

- | | |
|---------|--|
| ■ブランド名 | STUDIO FRANCO SERBLIN (スタジオ・フランコ・セルブリン / イタリア) |
| ■製品名 | Accordo Essence (アッコルド・エッセンス) フロアスタンディング型スピーカー・システム |
| ■希望小売価格 | 1,850,000 円(ペア、税別) |
| ■発売時期 | 2020年(令和2年) 5月 |
| ■受注開始日 | 2020年(令和2年) 3月4日 |

※3月4日より取扱店舗様にて受注を開始いたしますが、当面の間受注生産とし、お届けは5月以降となります。予めご了承ください。

以上

■ **STUDIO FRANCO SERBLIN** について

スタジオ・フランコ・セルブリンは、イタリアが誇り、世界にその名を知らしめたスピーカー・レジェンド・、フランコ・セルブリン氏が自身の名を冠し立ち上げたブランドです。同社は2010年に大型のフロアスタンディングモデル“Ktéma (クテマ)”、そして翌年2011年にブックシェルフ型スピーカー“Accordo (アッコルド)”のふたつの作品を発表しました。いずれのモデルも世界中のオーディオファイルから愛され続けています。

フランコ・セルブリン氏が当工房を立ち上げた時から、娘婿でもあり愛弟子のマッシミリアーノ・ファヴェッラ (Massimiliano Favella) 氏と二人三脚で運営して参りました。

セルブリン氏が2013年に他界される前から、2作品の組み上げ、クロスオーバー・ネットワークの製作など全てファヴェッラ氏が手がけており、セルブリン氏が一つ一つの作品へ込めた想いや情熱はファヴェッラ氏に引き継がれています。

2017年、セルブリン氏が生前に残したデザイン・スケッチを基に、ファヴェッラ氏がエンクロージャー素材の選定、細部のデザイン、音作りまで手掛けた“Ligena (リネア)”を完成。“Ligena”はファヴェッラ氏のセルブリン氏への深い尊敬を形にしたデビュー作となり、日本のみならず、世界中で高い評価を頂きました。



左から
“Ktéma”、“Accordo”、“Ligena”



マッシミリアーノ・ファヴェッラ氏 近影

Accordo *Essence*

■ “Accordo Essence” について

2011年の発売以来、9年経った今なお世界中で人気を博し、まさに銘機ともいえる、Accordo（アッコルド）”。本機はブックシェルフ型ながらも、そのサイズを感じさせない音場感、なまめかしい楽器や人の声は多くの人を魅了し続けています。

そしてこの度、現在の“STUDIO FRANCO SERBLIN”のオーナーである、ファヴェッラ氏入魂の作“Accordo Essence（アッコルド・エッセンス）”を発売いたします。“Essence（要素）”という言葉には多くの意味が含まれています。“Accordo”の“要素”だけでなく“フランコ・セルブリン”の“要素”、つまりセルブリン氏がよく使用していた木材やパーツ、愛した曲、芸術的感性…。セルブリン氏と二人三脚だったからこそ、ファヴェッラ氏にしか知りえない“要素”。それらと共に“Accordo”の本質を追求し、持ち得ている技術や感性を極限まで研鑽し注ぎ込んだファヴェッラ氏の意欲作となります。



Accordo

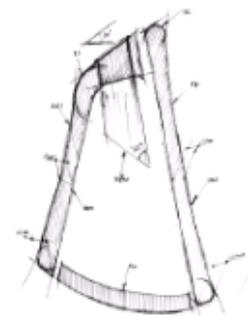


Accordo Essence

●エンクロージャー

“Accordo”と同様に、キャビネットには完全無垢ウォルナット材を使用し、寄木手法で完成させています。“Accordo Essence”のようなフロアスタンディング型でも、同様の成型方法を実現するためには、木の特質を知り尽くしていなければ成しえませんが、これは亡きセルブリン氏と共に、エンクロージャー開発時の材料の選定から設計まで、長年スピーカー製作に携わってきたファヴェッラ氏の卓越した技術による物でしょう。

天地の両面を除くとキャビネット本体のどこにも平行面がありません。側面を全て曲面体に成形することで、ユニットの背圧を全てエンクロージャー内で乱反射させ、定在波を極限まで抑制することで、音楽に刻み込まれた空気感や質感、アーティストのエモーションまでもナチュラルに再生します。背面にバスレフポートを2つ設けるとともに、独自の手法でバスレフポートからの風切り音を排除し、ユニットからの背圧を絶妙にチューニングしています。



“Accordo”
設計図のスケッチ

●ユニット

・トゥイーター

デンマークの優れたユニットの設計者であるラグナー・リアン氏によって設計された、29mm 径のシルク・ソフトドーム型トゥイーター、“Accordo” と同一のユニットを採用。

・ミッド・ウーファー

本機専用にカスタムメイドされた高分子素材配合の 150mm 径スライド・ペーパーコーン型ユニットを採用。センターキャップには、金属性のフェーズプラグを採用することで、淀みのない自然な中低域を再生します。

・ウーファー

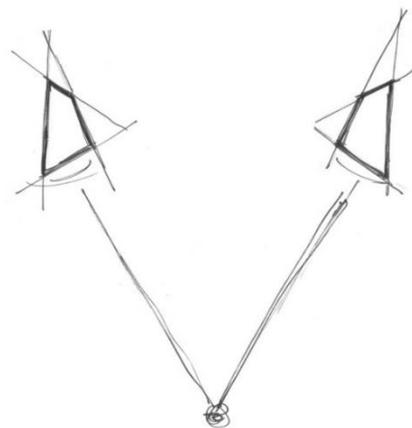
高分子素材を配合した 180mm 径のスライド・ペーパーコーン型ユニットを採用、本機専用のカスタムメイド・ユニットとなります。センターキャップにアルミニウム素材を配合させることで、優れた応答性を発揮します。



●クロスオーバー・ネットワーク

幾度もリスニングを重ね、ネットワーク回路に使われた1つ1つのパーツを見直す途方もない試行錯誤を重ねた結果、ユニットとエンクロージャーのポテンシャルを最大限に活かす事が出来る、最適なネットワークが完成しました。また、内部配線材にはフランコ・セルブリン氏がかねてより採用していた「Ytel」銀・パラジウム合金ケーブルを贅沢に使用。

トゥイーター、ミッド・ウーファー、ウーファーといったユニット群、ウォルナット材を使用したキャビネット、その他様々な異種パーツといった、混在した物を“調和 (Accordo)” させることで、各要素の持つ特異性を融合させた統一感のあるナチュラルで魅力的なサウンドを奏でます。



“Accordo” 構想図

■ Specification



正面

背面

| | |
|------------|--|
| ブランド名 | STUDIO FRANCO SERBLIN (スタジオ・フランコ・セルブリン) |
| 製品名 | Accordo Essence (アッコルド・エッセンス) |
| 形式 | 3Way・3スピーカー フロアスタンディング型 バスレフ方式 スピーカー・システム |
| ドライバー | トゥイーター：29mm シルク・ソフト・ドーム型 ミッド・ウーファー：150mm スライスド・ペーパーコーン型 ウーファー：180mm スライスド・ペーパーコーン型 |
| クロスオーバー周波数 | 200Hz / 3kHz |
| 周波数特性 | 35～22,000Hz |
| 出力音圧レベル | 88dB/2.83V |
| 公称インピーダンス | 4Ω |
| スピーカー端子 | シングルワイヤリング |
| キャビネット仕上げ | ウッド仕上げ (Walnut 無垢材) |
| 外形寸法 | W325 × H1080 × D430 mm (突起部含む) |
| 重量 (1台) | 30kg |